

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し設備）に係る面談

2. 日時：平成28年12月6日（火）10時00分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁 9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

熊谷補佐、日南川安全審査官、伊藤特殊施設審査官、小野係員

技術基盤グループ 安全技術管理官（地震・津波）付

鈴木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当3名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、3号機原子炉建屋の躯体状況調査結果を反映した使用済燃料プール等の耐震安全性評価結果について、説明があった。

- 原子力規制庁から

- 計算機コード「ABAQUS」を用いた面外せん断の算出方法及びモデル化
- 各部位に設定した積層シェル要素の特性及び各部位間の結合方法
- 当該評価結果として示す検定比の算出方法
- 当該評価及び併せて今回の申請範囲に含まれる燃料取扱設備の耐震性評価及び遮蔽体の滑動評価を行うに当たっての地震荷重の与え方及び大きさ

等を説明するとともに、実施計画に明記することを検討するよう求めた。

また、これまでに説明を受けた3次元FEM解析の基本ケース及びパラメトリックスタディのケースそれぞれにおける損傷状況を仮定した損傷モデルをまとめ、実施計画に明記することを検討するよう求めた。

6. その他

資料：なし